



本資料は、米国アッヴィ社が2024年4月26日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2024年5月7日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、www.abbvie.comをご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2024年5月7日

アッヴィ、2024年度第1四半期の業績を発表

- 第1四半期の希薄化後1株当たり利益(EPS)はGAAPベースで、492.3%増の0.77ドル、調整後希薄化後EPSは6.1%減の2.31ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した1株当たり0.08ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 第1四半期の売上高は、報告ベースで0.7%増、営業ベースで1.6%増の123億1,000万ドルでした。
- イミュノロジー(免疫)領域の第1四半期の売上高は、ヒュミラ®のバイオシミラーの競争により、報告ベースで3.9%減、営業ベースで3.1%減の53億7,100万ドルでした。ヒュミラ®の売上高は、22億7,000万ドルでした。スキリージ®の売上高は、20億800万ドルでした。リンヴォック®の売上高は、10億9,300万ドルでした。
- オンコロジー(がん)領域の第1四半期の売上高は、報告ベースで9.0%増、営業ベースで9.8%増の15億4,300万ドルでした。イムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は、8億3,800万ドルでした。ベネクレクスタ®の売上高は、6億1,400万ドルでした。
- ニューロサイエンス(精神・神経疾患)領域の第1四半期の売上高は、報告ベースで15.9%増、営業ベースで16.0%増の19億6,500万ドルでした。ポトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、7億4,800万ドルでした。Vraylar(日本では未承認・未発売)の売上高は、6億9,400万ドルでした。UbrelyvyおよびQulipta(日本では未承認・未発売)の売上高は合わせて、3億3,400万ドルでした。
- エステティックス領域の第1四半期の売上高は、報告ベースで4.0%減、営業ベースで2.5%減の12億4,900万ドルでした。ポトックス・コスメティックの売上高は、6億3,300万ドルでした。ジュビダームの売上高は、2億9,700万ドルでした。
- ImmunoGen社およびその主要ながん治療薬、Elahere(日本では未承認・未発売)の買収を完了しました。
- 2024年度における調整後希薄化後EPSの見通しは、10.97ドル-11.17ドルから11.13ドル-11.33ドルに引き上げます。これには、2024年第1四半期に発生する仕掛研究開発費およびマイルストーン支払による1株当たり0.08ドルのマイナスの影響が含まれます。

米国イリノイ州ノースシカゴ、2024年4月26日—アッヴィ(NYSE: ABBV)は、2024年第1四半期(2024年3月31日終了)の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「引き続き優れた実行力で、今四半期も好調な業績を上げました。私たちがこの11年間築いてきた組織を、私はこれ以上に誇りに思うことはできません。私たちはすぐれた企業文化を確立し、高



い研究開発力を構築し、一流の財務実績を実現し、患者さんと地域社会に大きく貢献することができました」

プレジデント兼 COO であるロバート・A・マイケルは次のように述べました。

「アッヴィの創業以来、卓越したリーダーシップを発揮してきたリック(リチャードのこと)に感謝するとともに、次期 CEO を務めることを大変光栄に思います。第 1 四半期は、ヒュミラ®以外の成長基盤が優れた業績を上げ、期待をはるかに上回る結果となりました。好調な業績を維持することで、通年の見通しを引き上げています」

2024 年第 1 四半期の業績

- 売上高は、報告ベースで 0.7%増、営業ベースで 1.6%増の 123 億 1,000 万ドルでした。
- イムノロジー(免疫)領域の売上高は、ヒュミラ®のバイオシミラーの競争により、報告ベースで 3.9%減、営業ベースで 3.1%減の 53 億 7,100 万ドルでした。
 - ヒュミラ®の売上高は、報告ベースで 35.9%減、営業ベースで 35.2%減の 22 億 7,000 万ドルでした。米国での売上高は、39.9%減の 17 億 7,100 万ドルで、米国外では報告ベースで 15.8%減、営業ベースで 11.6%減の 4 億 9,900 万ドルでした。
 - スキリージ®の売上高は、報告ベースで 47.6%増、営業ベースで 48.0%増の 20 億 800 万ドルでした。
 - リンヴォック®の売上高は、報告ベースで 59.3%増、営業ベースで 61.9%増の 10 億 9,300 万ドルでした。
- オンコロジー(がん)領域の売上高は、報告ベースで 9.0%増、営業ベースで 9.8%増の 15 億 4,300 万ドルでした。
 - イムブルピカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は 4.5%減の 8 億 3,800 万ドルで、その内訳は、米国内が 6 億 1,000 万ドル、米国外が 2 億 2,800 万ドルでした。
 - ベネクレクスタ®の売上高は、報告ベースで 14.2%増、営業ベースで 16.3%増の 6 億 1,400 万ドルでした。
 - Elahere(日本で未承認・未発売)の売上高は 6,400 万ドルで、これは 2024 年 2 月 12 日の ImmunoGen 社買収完了日に基づく売上高の一部を反映しています。
- ニューロサイエンス(精神・神経疾患)領域の売上高は、報告ベースで 15.9%増、営業ベースで 16.0%増の 19 億 6,500 万ドルでした。
 - ボトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、報告ベースで 4.1%増、営業ベースで 4.5%増の 7 億 4,800 万ドルでした。
 - Vraylar(日本で未承認・未発売)の売上高は、23.6%増の 6 億 9,400 万ドルでした。
 - Ubrelvy(日本で未承認・未発売)の売上高は、33.8%増の 2 億 300 万ドルでした。
 - Qulipta(日本で未承認・未発売)の売上高は、97.7%増の 1 億 3,100 万ドルでした。



- エステティックス領域の売上高は、報告ベースで 4.0%減、営業ベースで 2.5%減の 12 億 4,900 万ドルでした。
 - ボトックス・コスメティックの売上高は、報告ベースで 3.9%減、営業ベースで 2.6%減の、6 億 3,300 万ドルでした。
 - ジュビダームの売上高は、報告ベースで 16.4%減、営業ベースで 13.7%減の 2 億 9,700 万ドルでした。
- GAAP ベースで、売上総利益率は 66.7%でした。調整後売上総利益率は 82.9%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、26.9%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 24.6%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、15.8%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、14.7%でした。
- 取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払の売上高に占める割合は 1.3%でした。
- GAAP ベースで、営業利益率は 22.7%でした。調整後営業利益率は 42.2%でした。
- 純支払利息は 4 億 5,300 万ドルでした。調整後支払利息は 4 億 2,900 万ドルでした。
- GAAP ベースで、税率は 21.8%でした。調整後の税率は、14.8%でした。
- 希薄化後 EPS は、GAAP ベースで 0.77ドルでした。特定項目を除く調整後希薄化後 EPS は、2.31ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した 1 株当たり 0.08ドルのマイナスの影響が含まれます。

注意：「営業ベース(Operational)」の対比は、恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)。

https://news.abbvie.com/2024-04-26-AbbVie-Reports-First-Quarter-2024-Financial-Results?_ga=2.119527818.2078258008.1714430135-958530919.1707088314&_gl=1*3qerxo*_ga*OTU4NTMwOTE5LjE3MDcwODgzMTQ.*_ga_5LEXD56YGK*MTcxNDQzMDEzNS4xMDluMC4xNzE0NDMwMTM1LjAuMC4w

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製とソリューションの提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、さらに美容医療関連のアラガン・エステティックスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。X(旧 Twitter) [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

Forward-Looking Statements

Some statements in this news release are, or may be considered, forward-looking statements for purposes of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. The words "believe," "expect," "anticipate," "project" and similar expressions and uses of future or conditional verbs, generally



identify forward-looking statements. AbbVie cautions that these forward-looking statements are subject to risks and uncertainties that may cause actual results to differ materially from those expressed or implied in the forward-looking statements. Such risks and uncertainties include, but are not limited to, risks related to the proposed acquisition of Cerevel Therapeutics, including the possibility that the acquisition may not be consummated on the anticipated timeframe or at all, risks related to the ability to realize the anticipated benefits of the proposed acquisition on the anticipated timeframe or at all, risks that the costs to consummate the proposed acquisition or to obtain the anticipated benefits of the proposed acquisition could be greater than expected, the risk that an event occurs that could give rise to the right of AbbVie, on the one hand, or Cerevel Therapeutics, on the other hand, to terminate the acquisition agreement for such transaction, the risk that the business will not be integrated successfully, disruption from the proposed acquisition making it more difficult to maintain business and operational relationships, the diversion of management's attention from ongoing business operations and opportunities, negative effects of the consummation of the proposed acquisition on business or employee relationships or the market price of the Company's common stock and/or operating results, significant transaction costs, the assumption of unknown liabilities, the risk of litigation and/or regulatory actions related to the proposed acquisition of Cerevel Therapeutics's business, risks related to the financing of the proposed acquisition, challenges to intellectual property, competition from other products, difficulties inherent in the research and development process, adverse litigation or government action, and changes to laws and regulations applicable to our industry. Additional information about the economic, competitive, governmental, technological and other factors that may affect AbbVie's and Cerevel Therapeutics's operations is set forth in Item 1A, "Risk Factors," of AbbVie's 2023 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that AbbVie subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information; Item 1A, "Risk Factors," of Cerevel Therapeutics's 2023 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that Cerevel Therapeutics subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information. AbbVie undertakes no obligation, and specifically declines, to release publicly any revisions to forward-looking statements as a result of subsequent events or developments, except as required by law.